

S-20 シンポジウム20

Jp

9月1日(火) 9:00～10:30

第04会場(岡山コンベンションセンター 3F 301会議室)

脳卒中・循環器病対策基本法と日本神経学会

座長：卜部 貴夫 順天堂大学医学部附属浦安病院脳神経内科

横田 千晶 国立研究開発法人国立循環器病研究センター脳血管リハビリテーション科

S-20-1

総論：これまでの経緯と今後の展開

峰松 一夫 医療法人医誠会本部／公益社団法人日本脳卒中協会

S-20-2

「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」の成立を受けて

石上 晃子 国立循環器病研究センター 脳血管内科/研究振興部研究医療課

S-20-3

今求められていることは？：患者・家族支援の立場から

竹川 英宏 日本脳卒中協会／獨協医科大学

S-20-4

日本神経学会の役割と課題

橋本洋一郎 熊本市民病院 神経内科

S-21 シンポジウム21**Jp**

9月1日 (火) 9:00 ~ 10:30

第05会場 (岡山コンベンションセンター 3F 302会議室)

神経内科医が知っておきたい神経病理の基礎知識

座長：村山 繁雄 東京都健康長寿医療センター 神経内科・バイオリソースセンター・高齢者ブレインバンク・神経病理

高尾 昌樹 埼玉医科大学国際医療センター 神経内科・脳卒中内科

S-21-1 神経・筋病理

村山 繁雄 東京都健康長寿医療センター 神経内科・バイオリソースセンター・高齢者ブレインバンク (神経病理) / 大阪大学連合小児発達学研究所

S-21-2 神経内科医が知っておきたい神経病理の基礎知識「脳腫瘍」

西村 広健 川崎医科大学病理学

S-21-3 神経変性疾患の病理

高梨 雅史 順天堂大学医学部 脳神経内科

S-21-4 脳血管疾患の神経病理

高尾 昌樹 埼玉医科大学国際医療センター 神経内科・脳卒中内科

後援：日本神経病理学会

S-22 シンポジウム22**En**

9月1日 (火) 9:00 ~ 10:30

第06会場 (岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール)

Latest Advances in the Treatment of Ischemic Stroke

Chairs : Kazuo Kitagawa

Department of Neurology, Tokyo Women's Medical University

Toru Yamashita

Department of Neurology, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences

S-22-1 Therapeutic strategies modulating post-stroke inflammation

Takashi Shichita

Stroke Renaissance Project, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, Japan

S-22-2 Therapeutic strategies promoting collateral circulation

Satoru Ishibashi

Department of Neurology, Tokyo Medical and Dental University Hospital, Japan

S-22-3 Muse Cell Therapy for Cerebral Ischemia

Kuniyasu Niizuma

Department of Neurosurgical Engineering and Translational Neuroscience, Graduate School of Biomedical Engineering, Tohoku University, Japan / Department of Neurosurgical Engineering and Translational Neuroscience, Tohoku University Graduate School of Medicine, Japan / Department of Neurosurgery, Tohoku University Graduate School of Medicine, Japan

S-22-4 iN cell therapy for cerebral ischemia

Toru Yamashita

Department of Neurology, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Japan

S-23 シンポジウム23

Jp

9月1日(火) 9:00～10:30

第07会場(岡山コンベンションセンター 2F 展示ホール)

神経疾患の新しい臨床症状評価・診断法

座長：寺尾 安生 杏林大学医学部 病態生理学教室
長峯 隆 札幌医科大学医学部神経科学講座

S-23-1 小脳運動失調症の定量的評価と臨床への応用

寛 慎治 東京都医学総合研究所

S-23-2 神経変性疾患の歩行解析

三苫 博 東京医科大学 医学教育学分野

S-23-3 ビデオによる神経疾患の嚥下機能解析

平野 牧人 近畿大学医学部 脳神経内科

S-23-4 神経磁界計測による脊髄・末梢神経の伝導診断

川端 茂徳 東京医科歯科大学病院 先端技術医療応用学講座

S-24 シンポジウム24

公募 Jp

9月1日(火) 9:00～10:30

第09会場(岡山県医師会館 4F 402会議室)

いつまで治療を続けるのか？

座長：深浦 彦彰 埼玉医科大学 総合医療センター 神経内科
鈴木千恵子 弘前大学医学部脳神経内科

S-24-1 多発性硬化に、いつまで疾患修飾薬の治療を続けるのか？

清水 優子 東京女子医科大学病院 脳神経内科

S-24-2 Late stageのパーキンソン病診療

前田 哲也 岩手医科大学医学部内科学講座脳神経内科・老年科分野

S-24-3 ALSの終末期はどこまで治療するのか

荻野美恵子 国際医療福祉大学病院 医学教育統括センター

S-24-4 脳血管障害の再発予防の治療はいつまで継続するのか

寺山 靖夫 湘南慶育病院 脳神経内科

The Implication of Autophagy in Alzheimer's disease and Dementia

Chairs : Yumiko Motoi

Juntendo University School of Medicine, Dept of Diagnosis, Prevention, and Treatment of Dementia

Tadanori Hamano

Department of Neurology, University of Fukui

S-25-1

Degradation of amyloid β protein and tau in Autophagy

Tadanori Hamano

Department of Neurology, University of Fukui, Japan

S-25-2

A Role of Lithium on Autophagy in Tau Propagation Cell Models

Yumiko Motoi

Juntendo University, Dept. of Diagnosis, Prevention, and Treatment of Dementia, Japan / Juntendo University, Dept. of Neurology, Japan

S-25-3

Granulovacuolar degeneration in neurodegeneration

Koki Makioka

Department of Neurology, Gunma University Graduate School of Medicine, Japan

S-25-4

Alteration of autophagy-related proteins in synucleinopathies

Yasuo Miki

Department of Neuropathology, Hirosaki University Graduate School of Medicine, Japan

認知症診療のピットフォーラム

座長：玉岡 晃 筑波大学神経内科

葛谷 聡 京都大学大学院医学研究科 臨床神経学

S-26-1

アルツハイマー病診療におけるピットフォーラム

嶋田 裕之 大阪市立大学病院 認知症臨床研究センター

S-26-2

血管性認知症診療のピットフォーラム

長田 乾 横浜総合病院 臨床研究センター

S-26-3

Lewy小体型認知症診療におけるピットフォーラム

長濱 康弘 医療法人花咲会かわさき記念病院

S-26-4

前頭側頭葉変性症の診療におけるピットフォーラム

谷向 知 愛媛大学大学院医学系研究科地域健康システム看護学講座老年精神地域包括ケア学

S-26-5

特発性正常圧水頭症の診療におけるピットフォーラム

玉岡 晃 筑波大学 医学医療系 神経内科学

S-27 シンポジウム27

Jp

9月1日(火) 10:45～12:15

第04会場(岡山コンベンションセンター 3F 301会議室)

自己免疫性脳炎の最前線

座長：亀井 聡 上尾中央総合病院脳神経内科神経感染症センター
山村 隆 国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部

S-27-1 自己免疫性脳炎の国内動向：全国調査の結果から

古賀 道明 山口大学大学院医学系研究科臨床神経学

S-27-2 脳炎患者に対するtissue-based assayを用いた迅速抗体診断体制の構築

原 誠 日本大学医学部 内科学系 神経内科学分野

S-27-3 自己免疫性GFAPアストロサイトパチー

木村 暁夫 岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野

S-27-4 免疫性神経疾患としての筋痛性脳脊髄炎・慢性疲労症候群(ME/CFS)

山村 隆 国立精神・神経医療研究センター 免疫研究部

S-28 シンポジウム28

公募 Jp

9月1日(火) 10:45～12:15

第05会場(岡山コンベンションセンター 3F 302会議室)

小児期発症神経・筋疾患の小児－成人移行医療における現状と課題

座長：尾方 克久 国立病院機構東埼玉病院 神経内科／臨床研究部
齊藤 利雄 国立病院機構大阪刀根山医療センター神経内科・小児神経内科

S-28-1 小児－成人移行医療の現状と課題：総合医療療育施設の成人診療科での経験から

望月 葉子 東京都立北療育医療センター 内科・神経内科

S-28-2 小児－成人移行医療の現状と課題：地域中核病院の脳神経内科での経験から

崎山 快夫 自治医科大学附属さいたま医療センター 脳神経内科

S-28-3 小児成人期医療の現状と課題：広域専門医拠点(国立病院機構)での経験から

高橋 和也 独立行政法人国立病院機構医王病院 統括診療部

S-28-4 小児－成人移行医療の現状と課題：小児神経専門医の立場から

藤井 達哉 滋賀県立小児保健医療センター 小児科／大阪刀根山医療センター 小児神経内科

後援：日本小児神経学会

S-29 シンポジウム29**En**

9月1日 (火) 10:45 ~ 12:15

第06会場 (岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール)

**Preparing for disease-modifying therapies in PD
– From biomarkers, animal models to novel therapeutic approach**

Chairs : Carolyn Sue

The University of Sydney

Shigeki Arawaka

Department of Internal Medicine IV, Division of Neurology, Osaka Medical College

S-29-1 Updates of Liquid biomarkers in PD

Chin-Hsien Lin

National Taiwan University Hospital

**S-29-2 Updates of liquid biomarkers and disease-modifying potential of an
antiparkinsonian drug in PD**

Shigeki Arawaka

Department of Internal Medicine IV, Division of Neurology, Osaka Medical College, Japan

S-29-3 Animal model for disease-modifying therapies in PD

Hodaka Yamakado

Kyoto University Hospital, Japan

S-29-4 Novel therapeutic strategies targeting mitochondria

Carolyn M. Sue

Kolling Institute of Medical Research, Australia / University of Sydney, Australia

S-29-5 Disease-modifying therapeutics targeting alpha-synuclein

Masayuki Nakamori

Department of Neurology, Osaka University Graduate School of Medicine, Japan

S-30 シンポジウム30**公募 Jp**

9月1日 (火) 10:45 ~ 12:15

第07会場 (岡山コンベンションセンター 2F 展示ホール)

「基礎～臨床、学会横断シンポジウム」未来の疾患治療のために基礎科学に目を向けてみよう

座長：望月 秀樹 大阪大学大学院医学系研究科神経内科学

戸田 達史 東京大学大学院医学系研究科神経内科学

S-30-1 基礎研究の魅力 日本神経学会将来構想委員長から

望月 秀樹 大阪大学病院 神経内科学

S-30-2 基礎研究のすゝめ – 日本神経科学会会長から

柚崎 通介 慶應大学医学部

S-30-3 基礎医学研究の魅力 – 日本神経化学会理事長から –

小泉 修一 山梨大学医学部薬理学教室

1
日シン
ポ
ジ
ウ
ム

S-30-4 神経病理へのいざない – 神経病理学会理事長の立場から

村山 繁雄 東京都健康長寿医療センター 神経内科・バイオリソースセンター・高齢者ブレインバンク（神経病理）／大阪大学連合小児発達学研究所

後援：日本神経科学会、日本神経化学会、日本神経病理学会

S-31 シンポジウム31**公募 Jp**

9月1日(火) 10:45～12:15

第09会場(岡山県医師会館 4F 402会議室)

まると2時間封入体筋炎 ～up to dateとpitfall～

座長：森 まどか 国立精神・神経医療研究センター脳神経内科
鈴木 直輝 東北大学神経内科

S-31-1 高齢化社会で重要性を増す封入体筋炎：疫学データを中心に

青木 正志 東北大学大学院医学系研究科神経内科学

S-31-2 封入体筋炎の基本的な臨床像と落とし穴

森 まどか 国立精神・神経医療研究センター 脳神経内科

S-31-3 封入体筋炎の針筋電図所見：神経原性と間違えないために

東原 真奈 東京都健康長寿医療センター 神経内科・脳卒中科

S-31-4 封入体筋炎の筋病理とその鑑別診断

久保田 暁 東京大学病院 神経内科

S-31-5 封入体筋炎の嚥下造影検査所見

山本 敏之 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経内科

S-32 シンポジウム32**Jp**

9月1日(火) 14:15～15:45

第05会場(岡山コンベンションセンター 3F 302会議室)

パーキンソン病の非運動症状；症候から病態、疾患修飾への関与まで

座長：伊東 秀文 和歌山県立医科大学脳神経内科
藤岡 伸助 福岡大学病院神経内科

S-32-1 パーキンソン病にみられる非運動症状の最新知見

藤岡 伸助 福岡大学医学部 脳神経内科

S-32-2 パーキンソン病における非運動症状の背景病理

齊藤 祐子 国立精神・神経医療研究センター 臨床検査部

S-32-3 パーキンソン病の便秘；原因か結果か？

榊原 隆次 東邦大学医療センター佐倉病院 脳神経内科

S-32-4 パーキンソン病バイオマーカーとしての嗅覚障害

馬場 徹 仙台西多賀病院 脳神経内科

S-33 シンポジウム33**En**

9月1日(火) 14:15～15:45

第06会場(岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール)

New era of neuroimaging and neurosonology

Chairs : Hidehiro Hirabayashi

National Hospital Organization Nara Medical Center, Japan

Dong-Eog Kim

Dongguk University, Seoul, Korea

S-33-1

New cerebral hemodynamic indicators using dual ASL perfusion imaging

Jyoji Nakagawara

Osaka Namba Clinic, Japan

S-33-2

MR Imaging of Neurovascular Abnormality: Experiences from A Quantitative Image-based Stroke Registry

Dong-Eog Kim

Department of Neurology, Dongguk University Ilsan Hospital, Korea

S-33-3

Magnetic resonance-guided focused ultrasound treatment for essential tremor- Our experience-

Hidehiro Hirabayashi

Department of Neurosurgery, National Hospital Organization Nara Medical Center, Japan

S-34 シンポジウム34**公募 Jp**

9月1日(火) 14:15～15:45

第07会場(岡山コンベンションセンター 2F 展示ホール)

神経免疫疾患の個別化医療：現在と将来

座長：山村 隆 国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部

岡本 智子 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経内科

S-34-1

免疫介在性ニューロパチーの個別化医療

岡本 智子 国立精神・神経医療研究センター病院 脳神経内科

S-34-2

血液浄化療法の有用な病態と神経疾患

林 幼偉 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 病院神経内科診療部／国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所免疫研究部

S-34-3

重症筋無力症における濾胞性T細胞の偏移：新規疾患活動性バイオマーカーになりうるか

近藤 誉之 関西医科大学総合医療センター 神経内科

S-34-4

視神経脊髄炎スペクトラムの治療展望

荒木 学 河北総合病院 神経内科／国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部

1
日シン
ポ
ジ
ウム

S-35 シンポジウム35

Jp

9月1日(火) 14:15 ~ 15:45

第09会場(岡山県医師会館 4F 402会議室)

代謝性疾患 治療とマネジメントの最先端 学生時代の常識は通用しない!

座長: 下畑 享良 岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野
 関島 良樹 信州大学医学部 脳神経内科, リウマチ・膠原病内科

S-35-1 siRNAによる遺伝性ATTRアミロイドーシスの最新治療と非集積地での診断

関島 良樹 信州大学病院 脳神経内科, リウマチ・膠原病内科

S-35-2 副腎白質ジストロフィーに対する造血幹細胞移植

松川 敬志 東京大学医学部附属病院 分子神経学講座

S-35-3 Wilson病: 見逃してはいけない症例と持続的治療

宮嶋 裕明 浜松医科大学病院 脳神経内科

S-35-4 タウリンによるミトコンドリア病の治療

砂田 芳秀 川崎医科大学 神経内科学教室

S-35-5 神経症状を呈するライソゾーム病の治療とマネジメント

坪井 一哉 名古屋セントラル病院, ライソゾーム病センター

S-36 シンポジウム36

En

9月1日(火) 13:45 ~ 15:15

第12会場(岡山国際交流センター 8F イベントホール)

Development of new frontier for elucidation of multiple system atrophy

Chairs: Yasuyuki Ohta
 Division of Neurology, Department of Internal Medicine III, Yamagata University
 Koichi Wakabayashi
 Department of Neuropathology, Hirosaki University Graduate School of Medicine

S-36-1 Cellular pathology in multiple system atrophy

Koichi Wakabayashi
 Department of Neuropathology, Hirosaki University Graduate School of Medicine, Japan

S-36-2 Alterations of Cerebello-Cerebral Resting State Networks in Multiple System Atrophy

Hirohisa Watanabe
 Department of Neurology, Fujita Health University, Japan

S-36-3 How does exogenous alpha-synuclein get access to the endogenous alpha-synuclein proteins?

Takafumi Hasegawa
 Division of Neurology, Department of Neuroscience & Sensory Organs, Tohoku University Graduate School of Medicine, Japan

S-37 シンポジウム37

Jp

9月1日(火) 16:00～17:30

第04会場(岡山コンベンションセンター 3F 301会議室)

側頭葉てんかんの新展開

座長：重藤 寛史 九州大学医学部保健学科
神 一敬 東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野

S-37-1 側頭葉てんかんの多様性

寺田 清人 てんかんと発達の横浜みのる神経クリニック／NHO静岡てんかん・神経医療センター

S-37-2 側頭葉てんかんと認知症

赤松 直樹 国際医療福祉大学 医学部脳神経内科／福岡山王病院

S-37-3 側頭葉てんかんと自己免疫性脳炎

加藤 量広 みやぎ県南中核病院 脳神経内科

S-37-4 側頭葉てんかんの高次脳機能障害

下竹 昭寛 京都大学大学院医学研究科 臨床神経学

S-37-5 側頭葉てんかんでは左海馬CA1の相対的容積の減少が長期記憶の健忘を加速させる

一般演題から採用

向野 隆彦 九州大学大学院医学研究院神経内科学

S-38 シンポジウム38

Jp

9月1日(火) 16:00～17:30

第05会場(岡山コンベンションセンター 3F 302会議室)

日本発 遺伝性神経筋疾患 最新の発見

座長：舩山 学 順天堂大学大学院医学研究科老人性疾患病態・治療研究センター
佐竹 渉 東京大学大学院医学系研究科 脳神経内科

S-38-1 神経核内封入体病(Neuronal intranuclear inclusion disease:NIID)の原因遺伝子発見

曾根 淳 国立病院機構鈴鹿病院 脳神経内科

S-38-2 続々同定される非コード領域リピート伸長病

石浦 浩之 東京大学医学部附属病院 脳神経内科

S-38-3 ニューロパチーの遺伝学 最新の知見

樋口雄二郎 鹿児島大学病院 脳神経内科

S-38-4 パーキンソン病はライソゾーム病か?新規パーキンソン病原因遺伝子の発見

王子 悠 順天堂大学医学部附属順天堂医院 脳神経内科

S-38-5 SCA36/Asidanの臨床と分子病態

池田 佳生 群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学

S-38-6 日本におけるPerry病の特徴

一般演題から採用

三嶋 崇靖 福岡大学医学部脳神経内科

1
日

シン
ポ
ジ
ウ
ム

S-39 シンポジウム39**En**

9月1日(火) 16:00～17:30

第06会場(岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール)

The concept of MOG-IgG positive diseases

Chairs : Ichiro Nakashima

Department of Neurology, Tohoku Medical and Pharmaceutical University

Tatsuro Misu

Department of Neurology, Tohoku University

S-39-1 MOG-IgG assays and their clinical associations in children

Patrick Waters

University of Oxford, UK

S-39-2 Clinical manifestation of MOG-IgG associated encephalomyelitis

Sung Min Kim

Seoul National University Hospital, Korea

S-39-3 Immunological features of MOG-IgG diseases

Kimihiko Kaneko

Department of Neurology, NHO Miyagi National Hospital, Japan / Department of Neurology, Tohoku University, Japan

S-39-4 Pathology of MOG-IgG diseases

Yoshiki Takai

Department of Neurology, Tohoku University Hospital, Japan

S-39-5 Pediatric cases of MOG-IgG disease

Takahiro Ikeda

Department of Pediatrics, Jichi Medical University, Japan

S-40 シンポジウム40**公募 Jp**

9月1日(火) 16:00～17:30

第07会場(岡山コンベンションセンター 2F 展示ホール)

脳肉眼診断の極意－ローテクのみでここまで鑑別できる－

座長：岩崎 靖 愛知医科大学加齢医科学研究所

内原 俊記 新渡戸記念中野総合病院 脳神経内科・脳神経研究室

**S-40-1 脳血管障害および全身疾患に伴う種々の脳病変
～MRI所見とマクロ病理所見の対比～**

宇高不可思 住友病院 脳神経内科

S-40-2 認知症の脳肉眼所見の検討

橋詰 良夫 福祉村病院 神経病理研究所

S-40-3 脊髄小脳変性症

岩淵 潔 みらい在宅クリニック

S-40-4 肉眼所見から読み解くパーキンソン症候群

吉田 真理 愛知医科大学病院 加齢医科学研究所

後援：日本神経病理学会、日本神経放射線学会

S-41 シンポジウム41**Jp**

9月1日(火) 16:00～17:30

第09会場(岡山県医師会館 4F 402会議室)

神経難病に対する神経リハビリテーション:可塑性から臨床アウトカムへ

座長: 加世田ゆみ子 広島市立リハビリテーション病院脳神経内科
林 健 埼玉医科大学国際医療センター神経内科・脳卒中内科

S-41-1 運動による神経変性抑制メカニズム

武田 明子 大阪大学大学院医学系研究科 神経難病認知症探索治療学

S-41-2 神経難病に対する反復経頭蓋磁気刺激治療

花島 律子 鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経内科分野

S-41-3 神経難病に対する入院リハビリテーション～脊髄小脳変性症を中心に

宮井 一郎 森之宮病院 神経リハビリテーション研究部

S-41-4 神経疾患、神経筋疾患の機能再生のためのサイボーグ型ロボットHAL[®]との複合療法の進歩

中島 孝 国立病院機構新潟病院 脳神経内科

S-42 シンポジウム42**Jp**

9月1日(火) 16:00～17:30

第11会場(ANAクラウンプラザホテル岡山 1F 曲水)

急性期脳卒中インターベンションへの新たなアプローチ

座長: 木村 和美 日本医科大学脳神経内科
藤本 茂 自治医科大学内科学講座神経内科学部門

S-42-1 再灌流療法戦略: tissue-basedアプローチによる適応判断

平野 照之 杏林大学医学部 脳卒中医学教室

S-42-2 再灌流療法戦略: tPA+血栓回収療法

園田 和隆 済生会福岡総合病院 脳神経内科

**S-42-3 急性期脳卒中リハビリテーション:
HAL[®]歩行運動療法と包括的循環器リハビリテーション**

横田 千晶 国立循環器病研究センター 脳血管リハビリテーション科

S-42-4 急性期脳梗塞例への新たな抗血栓療法

長尾 毅彦 日本医科大学多摩永山病院 脳神経内科

S-43 シンポジウム43**Jp**

9月1日(火) 15:30～17:00

第12会場(岡山国際交流センター 8F イベントホール)

脳神経内科のキャリアパス: 訪問診療、在宅診療の要としての脳神経内科医

座長: 和泉 唯信 徳島大学病院神経内科
松岡 直輝 まつおか内科・脳神経内科

S-43-1 都市部での在宅医療の現状と課題

吉野 正俊 吉野内科クリニック

S-43-2 新興住宅地の在宅療養を支える脳神経内科医の実践

松岡 直輝 まつおか内科・脳神経内科

S-43-3 神経難病患者の在宅療養を支える脳神経内科医に求められるもの

小笠原 望 大野内科

S-43-4 神経難病患者の栄養療法，在宅人工呼吸療法を支える

馬木 良文 あおぞら内科

HT-07 ホットトピックス07**Jp**

9月1日(火) 9:00～10:30

第01会場(岡山コンベンションセンター 4F 405会議室)

認知症における脳機能画像の進歩

座長：下濱 俊 札幌医科大学医学部神経内科学講座

羽生 春夫 東京医科大学高齢総合医学分野

HT-07-1 アミロイドPET画像病理相関研究の意義と展望

石井 賢二 東京都健康長寿医療センター研究所 神経画像研究チーム

HT-07-2 タウPETが魅せる認知症脳病態

島田 斉 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子医学・医療部門 放射線医学総合研究所 脳機能イメージング研究部

HT-07-3 反応性アストロサイトのPETイメージング

岡村 信行 東北医科薬科大学医学部薬理学

HT-07-4 ニコチン受容体PETと認知機能

尾内 康臣 浜松医科大学病院 生体機能イメージング研究室

HT-07-5 MRI定量的磁化率マッピング法によるアルツハイマー病の早期診断

工藤 與亮 北海道大学大学院医学研究院画像診断学教室

HT-08 ホットトピックス08**公募 Jp**

9月1日 (火) 9:00 ~ 10:30

第02会場 (岡山コンベンションセンター 4F 407会議室)

脳神経内科における遠隔医療・オンライン診療の現状とこれから

座長：野崎 園子 わかくさ竜間リハビリテーション病院
中村 昭則 国立病院機構まつもと医療センター脳神経内科

HT-08-1 遠隔医療・オンライン診療の経緯と現状 オーバービュー

野崎 園子 わかくさ竜間リハビリテーション病院

HT-08-2 神経筋難病における遠隔医療の有用性

中村 昭則 国立病院機構まつもと医療センター 脳神経内科

HT-08-3 脳卒中の遠隔医療 (Telestroke)

長谷川泰弘 聖マリアンナ医科大学病院 脳神経内科

HT-08-4 訪問看護におけるオンライン診療の効果と課題

竹市 美加 訪問看護ステーションたべる

HT-08-5 オンライン診療の適切な実施に関する指針について

伴 圭吾 厚生労働省医政局医事課

HT-09 ホットトピックス09**公募 En**

9月1日 (火) 10:45 ~ 12:15

第01会場 (岡山コンベンションセンター 4F 405会議室)

Is the concept of embolic stroke of undetermined source (ESUS) dead or alive?

Chairs : Kazunori Toyoda
Dept. of Cerebrovascular Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center
Takanari Kitazono
Department of Medicine and Clinical Science

HT-09-1 Problems of ESUS criteria from the viewpoint of the guidelines for implantable cardiac monitor

Keiji Yamaguchi
Department of Neurology, Ichinomiya Nishi Hospital, Japan

HT-09-2 Investigation of arteriogenic embolism

Yuji Ueno
Department of Neurology, Juntendo University Faculty of Medicine, Japan

HT-09-3 Decision making of patent foramen ovale closure by brain and heart team
Hiroshi Yamagami
 Department of Stroke Neurology, National Hospital Organization Osaka National Hospital, Japan

HT-09-4 Subclassification of ESUS according to the responsiveness to anticoagulation
Shinichiro Uchiyama
 Center for Brain and Cerebral Vessels, Sanno Hospital and Sanno Medical Center, Japan

HT-09-5 Atrial cardiopathy as a cause of ESUS
Hans C. Diener
 Faculty of Medicine and Institute for Medical Informatics, Biometry and Epidemiology at the University of Duisburg-Essen, Germany

後援：日本脳卒中学会、日本血栓止血学会、日本栓子検出と治療学会、日本心血管脳卒中学会

HT-10 ホットピックス10

Jp

9月1日(火) 10:45 ~ 12:15

第02会場(岡山コンベンションセンター 4F 407会議室)

ニューロトキシコロジー：臨床医が理解すべき病態と治療の最新情報

座長：下畑 享良 岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野
 岩田 淳 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター脳神経内科

HT-10-1 メチル水銀中毒
 下畑 享良 岐阜大学病院 脳神経内科

HT-10-2 破傷風毒素
 徳本健太郎 NHO 静岡てんかん・神経医療センター 神経内科

HT-10-3 農薬の神経毒性学
 市川 博雄 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 内科系診療科 脳神経内科

HT-10-4 一酸化炭素中毒
 中山 貴博 横浜労災病院 脳神経内科・神経筋疾患部

HT-11 ホットピックス11

En

9月1日(火) 14:15 ~ 15:45

第01会場(岡山コンベンションセンター 4F 405会議室)

An update on diagnostic and prognostic biomarkers in Parkinson's disease

Chairs : Masahiko Tomiyama
 Department of Neurology, Hirosaki University Graduate School of Medicine
 Tetsuya Maeda
 Division of Neurology and Gerontology, Department of Internal Medicine, School of Medicine, Iwate Medical University

HT-11-1 Neuroimaging biomarkers in Parkinson's disease and related disorders
Taku Hatano
 Department of Neurology, Juntendo University, Faculty of Medicine, Japan

HT-11-2 Intestinal microbiota as biomarkers
Masaaki Hirayama
Nagoya University Graduate School of Medicine, Japan

HT-11-3 Biofluid biomarkers for parkinsonian disorders: focusing on blood-based biomarkers
Takahiko Tokuda
Department of Molecular Pathobiology of Brain Diseases, Kyoto Prefectural University of Medicine, Japan

HT-11-4 Pathological biomarker
Renpei Sengoku
Departments of Neurology and Neuropathology, Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital, Japan

HT-12 ホットトピックス12

Jp

9月1日(火) 14:15 ~ 15:45

第02会場(岡山コンベンションセンター 4F 407会議室)

頚椎・腰椎症を含む脊椎疾患のホットトピックス

座長：安藤 哲朗 愛知県厚生連安城更生病院脳神経内科
古谷 博和 高知大学医学部脳神経内科

HT-12-1 頚椎症の臨床病理
亀山 隆 中部ろうさい病院 神経内科

HT-12-2 頚部病変の診断精度を上げるための多くの臨床データ解析
古谷 博和 高知大学病院 脳神経内科

HT-12-3 腰椎疾患の鑑別診断と手術適応
安藤 哲朗 安城更生病院 脳神経内科

HT-12-4 リハビリテーションから考える腰痛の病態と対応
服部 憲明 富山大学附属病院リハビリテーション科

HT-13 ホットトピックス13

Jp

9月1日(火) 16:00 ~ 17:30

第01会場(岡山コンベンションセンター 4F 405会議室)

タウオパチー最新の知見

座長：坪井 義夫 福岡大学医学部脳神経内科
矢部 一郎 北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野神経内科学教室

HT-13-1 タウオパチーの神経病理
吉田 眞理 愛知医科大学病院 加齢医科学研究所

HT-13-2 タウオパチー病態に関与する素因遺伝子
矢部 一郎 北海道大学大学院医学研究院 神経病態学分野神経内科学教室

HT-13-3 タウオパチーの臨床と治療薬開発の最前線
藤岡 伸助 福岡大学病院 脳神経内科

HT-13-4 タウオパチーの分子病態
長谷川成人 東京都医学総合研究所 認知症プロジェクト

HT-14 ホットピックス14

Jp

9月1日(火) 16:00～17:30

第02会場(岡山コンベンションセンター 4F 407会議室)

稀有な認知症疾患の画像と病理

座長：玉岡 晃 筑波大学神経内科
池内 健 新潟大学脳研究所生命科学リソース研究センター

HT-14-1 ALSP/HDLSの臨床画像と病理

池内 健 新潟大学 脳研究所 生命科学リソース研究センター

HT-14-2 脆弱X関連振戦/失調症候群(FXTAS)の臨床像と病態

石井 一弘 筑波大学病院 神経内科

HT-14-3 CADASIL、CARASILの画像と病理

水野 敏樹 京都府立医科大学 神経内科学

HT-14-4 神経核内封入体病(NIID)の画像と病理

曾根 淳 国立病院機構鈴鹿病院 脳神経内科

G 新ガイドライン

Jp

9月1日(火) 10:45～12:15

第12会場(岡山国際交流センター 8F イベントホール)

ジストニア・SCD/MSA・HAM

座長：羽生 春夫 東京医科大学高齢総合医学分野
飛田 宗重 独立行政法人国立病院機構米沢病院脳神経内科

G-1 ジストニア診療ガイドライン2018

目崎 高広 榊原白鳳病院脳神経内科

G-2 SCD・MSA診療ガイドラインのエッセンス

吉田 邦広 信州大学医学部神経難病学講座神経遺伝学部門

G-3 リアルワールドエビデンスを活用した「HAM診療ガイドライン2019」について

佐藤 知雄 聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター病因・病態解析部門